

## 平成22年度 会長就任の挨拶



横須賀三浦放射線技師会会長 服部 祐治

会員、賛助会員の皆様にはご健勝でお過ごしのことと思います。

去る3月27日に開催された平成21年度総会において、再度会長職を拝命し改めて身の引き締まる  
思いと責任の重さを痛感しております。

すでにご承知のように、この4月から横須賀市民病院が公設民営化となり、新体制で稼働することになりましたが、これまでに行ってきた形態を変更することは、勤務する人たちにとっても大きな苦悩や  
苦勞を伴います。

私たちの地域でも確実に医療情勢が変化し、医療を行う側も受ける側も戸惑いを隠せない状況にあり、  
この流れがどこに向かっているのか、どのような形で収束していくのか、各方面で色々なご意見が出され  
討論もされていますが、政治の政権交代に伴い混沌としてまだ予想のつかない状況です。

さて、当会は過去において記念事業など、他の地域からも羨望されるような大きな事業を展開して  
まいりました。この大きな事業の成功の秘訣は、60年の歴史を持つ誇りと集結した力が成せた業であり、  
あらためて当会の持つ潜在的な底力を感じることが出来ます。

しかし今、めまぐるしく変化する医療情勢に対応するために、どのような姿勢で臨むべきかの判断が問われ  
ています。「今は力を使うときにあらず力を蓄えるとき」ある程度の方向を見極めてから動くことが肝要と  
考えております。

総会でご承認をいただいた平成22年度の事業計画については、前年同様の規模で推移できればと思っておりますが、理事の減少は避けられないものとなり、新役員の方々の意向を汲み、出来るだけ負荷のかからない範囲の中で活動ができればと思っております。

継続は力なりと申します。やがて来る百年の大計のために、皆様のご協力をお願い申し上げご挨拶と致します。

平成22年5月2日